

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		生活支援センターえがお					公表日	令和7年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様の人数に応じてベッドやマット類の配置等工夫しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者様一人に1名以上の職員を配置し、専門的な知識のある保育士・看護師・理学療法士を配置し、多職種で連携しながら支援に努めています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		全てバリアフリーになっております。入口には掲示板を設置し、様々な案内を掲示しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用者様の体調に応じた環境作りを心掛けています。また、常時換気も行い、室内・遊具等の消毒をこまめに行っています。また、季節感を感じられるよう工夫しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別に安静が必要な場合には、別室やパーティションで個別の空間を提供しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員での話し合いの場を設けています。書面も利用し、情報共有を行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見を真摯に受け止め、業務改善に努めます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や夕方のミーティング、事業所の会議を行い、職員の意見を聞く機会を設けています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回事業所研修を行い、外部講師を招いた研修も行っています。また、外部の研修にも積極的に参加しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、ホームページに公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的に保護者と面談を行い、アセスメントを行うとともに多職種で個別支援会議を行い、計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員からの意見を集め、会議を開催して検討を行っています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は全員が共通理解し、計画に沿った支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査のツールをつかいながら、日々の変化は記録に残すよう取り組んでいます。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各専門職の意見を取り入れ、話し合いながら目標や支援内容を決定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事前に活動内容について検討し、活動前に再度打ち合わせを行っています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事を取り入れながら、また繰り返しですが大事なこともあるため、職員間で話し合い工夫しながら行っています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お一人お一人に合わせた活動を全職員で意見を出し合い、計画を作成しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼時に情報共有し、その日の体調・状況により活動内容を工夫しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動後に振り返りを行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動内容や様子などを細かく記録し、改善が必要な場合は職員間で検討しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回以上、もしくは体調の変化があった場合は随時行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、担当者が参加しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問看護・リハビリ等の医療、就学支援等で教育機関との連携をしております。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		発達段階に合わせて、保育所や他事業所への移行をすすめ、移行の際には情報共有しています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを作成し、就学前後には綿密に連携を取っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			必要な時にはケア児センターと連携を取る場合もある。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			重心児のため、保育園・幼稚園の子どもたちとの交流は感染時のリスクは高い。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			ご利用時や送迎時に保護者様と状況をお伝えし合っています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			お困りの時等、ご相談いただけるような環境作りに努めています。また、集団での相談支援も行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			保護者会にて説明を行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			面談を行い、利用者様と保護者様の意見をお伺いしています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			計画の説明を行い、その際に同意のサインをいただいています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			面談時にお伺いしておりますが、毎回のご利用時、送迎時にも対応しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		園外活動や行事など保護者同士で交流できる場を提供しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		毎回のご利用時、送迎時にも対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回「えがお便り」を発行し、活動の様子はSNSで発信を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		細心の注意を払っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		表情や目線等から意思をくみ取れるように配慮し、ご家族とも常に情報共有を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		避難訓練の際には地域の方に参加を呼び掛けています。	利用者と一緒にするイベントには感染のリスクもあるため難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、それに沿って訓練を行っています。面談時にも説明を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に1回以上は訓練と研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		毎回、ご家族と状況を確認し合い、個別の情報を作成し、変更の都度、更新しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食べ物の提供は行っていないが、情報は保護者から伺っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を通して職員に周知しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		面談や保護者会にて、安心・安全に支援することについて説明をしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全職員で検討し、共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、年に1回の研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		座位保持椅子やバギー・カーシート等のベルトの着用に関して、書面で同意をいただき、日々の記録にも記載しています。		